



東日本ユニオンにいがた

http://niigatachihon.yukigesho.com/

JR東日本労働組合新潟地方本部

2025年2月15日発行

第21号(通巻第341号)

発行者: 星山 圭 編集者: 教育・広報部

申7号 団体交渉

社員には聞いていないが現場に確かめたとして 社員の声に基づいて行路見直し案の要求に応じず

新潟地本は1月31日に、申7号・2025年3月ダイヤ改正における乗務行路等に関する申し入れの団体交渉を行いました。

2025年3月15日のダイヤ改正における「運転士・車掌運用行路表(案)」について安全や働きがい、新規養成や転入者教育などの観点から36項目にわたり申し入れたものです。

乗務行路等の検討について

2023年度申25号の行路等を検討した理由を団体交渉で支社側は、次期ダイヤ改正では一般社員も参画して箇所の声を把握する方法を作りたいと申し入れたものの、社員に対して行われたのは行路検討の進め方のみで周知であり、乗務する社員のニーズを広く集めることはありませんでした。

ダイヤ改正プロジェクトにより、運用計画セミナー受講者を加えて乗務車の拡大があり、プレス発

その上で、「しらすゆき号」の時刻変更やワンマン列車の拡大があり、プレス発

表前であることから判断してセミナー受講社員に限定したとしました。以前のダイヤ改正プロジェクトで情報が漏れたことがあったのか質すと支社側は、発信はなかったとする一方で、運賃改定についてはプレス前に情報が漏れてしまったとしました。

労働時間および行路運用について

新潟乗務室のB1211行路、681Mの新潟駅ドア開扉時間指定について、17分の付加時間が付いていることに対して考えを質しました。

各箇所の乗務行路について

新潟統括センター新潟乗務室・新津乗務室、長岡統括センターの乗務員運用行路について、24時間を超える拘束時間の解消や遠距離・単身赴任者に配慮した行路順序、乗務負担の軽減など、実際に乗務する組合員・社員の意見をもとに、20項目にわたり行路の内容や行路順序の見直しを求めました。

設備関係について

新潟乗務室B2102行路とB2108行路の乗務間合いで、あいづ統括センター会津若松駅での休憩場所を整備するよう求めました。

支社側も、あいづ統括センター会津若松駅の休憩スペースの現状について職場からの声を把握して



2025春闘 要求決定!

- 定期昇給は「昇給係数4」とすること
- 社員の基本給を「一律20,000円」引き上げること
- エルダー社員の基本賃金を「一律20,000円」引き上げること
- 「第二基本給」を廃止すること

JR労働者の力を結集し要求を実現しよう!

車掌の乗り継ぎは、列車番号が変わる場合は「出発」として発車時刻までの出場である一方、変わらな

羽越本線・村上〜酒田間が質すと支社側は、行政と連携しているもの、現場第一線での取り組み、石打駅での取り組み、新潟駅ではレーザー光線による対応

現在、長岡駅での夜間留置が一本増えることから、対策はあるか質すと、現状での対策となり、定期的な清掃は行っているとした。

新潟乗務室のダブル行路の勤務間において、長距離通勤の社員に休養管理室の借用を許可するよう求めました。

支社側は、異外通勤者もいることは把握しているとして、管理者に相談しての判断となり、申告により考慮していききたいとの考えを示しました。